

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 4年 8月 24日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100850		
法人名	有限会社サカコーポレーション		
事業所名	グループホーム ガーデンの家 落合南		
所在地	〒739-1732 広島県広島市安佐北区落合南9丁目5-20 (電話) (082) -843-4165		
自己評価作成日	令和4年7月19日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100850-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年8月16日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

地域とのつながりを大切にしています。ご本人のできる事・したい事を継続できるよう『役割作り』に取り組んでいます。入居者様同士もお互いできないところを助け合いながら生活しています。個別の関わりに力を入れ、入居者様が安全に安心して生活できるように『入院予防』の観点から様々な取り組みをチーム内で検討し取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

法人理念、地域密着事業理念を踏まえて事業所目標を設定し、「認知症プロジェクト」本人主体、利用者中心の認知症ケアの実践に取り組んでいる。利用者の趣味、特技、仕事に着目し、役割作りや個別の生活史メモリアルブック作成を通じて輝いてその人らしく生活が送れるよう支援している。職員一人ひとりが支援をする中で、アイデア、提案、不安点など出し合い仕事への意欲に繋がる環境整備に尽力している。事業所が地域住民の一員として馴染みの関係継続、かかりつけ医の受診や移動スーパーの買物、災害時に緊急避難事業所の発信をするなど協力体制の構築に努めている。重度化した場合、看取りはしない方針ではあるが、家族の要望もあり終末ケアを家族、医師、医療関係者、事業所職員等連携協力のもとで穏やかに最期を迎えられた事例がある。

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	朝礼時に理念の唱和を行い、施設内研修等でも理念の唱和を行い共有できている。	経営理念、地域密着事業理念を朝礼や内部研修の時唱和し意識統一している。事業所目標を設定し、職員は目標チャレンジシートを活用して目標を設定し半年ごとに振り返り、法人作成のハンドブックをもとに原点に立ち返り実践に繋がるよう取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナウイルス感染拡大から地域行事が行えなくなっている。その中でも、フジの移動スーパーが毎週水曜日に来て、施設の利用者・職員・地域の方が購入されている。その際に、少しではあるが交流ができています。	地域行事の参加、高校生の一日体験、事業所1階地域交流室を利用した100歳体操など地域住民との交流を深めていたが、コロナ禍で現在は行われていない。移動スーパーの販売が訪れた際に利用者、職員、近隣住民との交流や散歩の時、挨拶するなど機会を有効に活用し交流を続けている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナウイルス感染拡大防止から地域に向けての取り組みが行えていないが、運営推進会議の中で地域の向けて事業所のサービス説明をしてほしいと依頼がある。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	町内会長、老人会の会長、民生委員、地域包括、家族、地域連携委員(施設内の職員)に参加して頂き、取組みの説明を行い、助言等を頂いている。	コロナ禍による外出自粛の為、従来通りの開催が行われない月もあるが、開催時には活動報告等行われ意見交換、助言の場となっている。屋外の非常階段に人感センサー設置や移動スーパーの誘致など意見、助言が活かされている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	制度上の不明点の確認等は積極的に行い、地域包括の職員とも協力関係を築いている。	後見人制度、介護保険制度上の不明点など電話や出向くなどして相談をしている。地域包括支援センター職員の運営推進会議の参加や100歳体操、空き状況報告など協力関係の構築に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	この1年間で身体拘束発生事例はない。毎月身体拘束廃止推進委員会を開催し未然の防止を図っている。 防犯上の管理から玄関は電子ロックをかけているが、入居者様の思いにはしっかりとお答えし、職員付添いのもと一緒に外に出ている。	委員会や研修を通じて身体拘束をしないケアを実践している。スピーチロック、グレーゾーンに関して、職員にアンケートを取りワークショップを開催して、意識統一を図り共有し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待に関する委員会の指針等の整備を会社が行っている。研修に関しては年2回開催し職員の意識を高めている。また、員致傷の理解を深める為に、認知症に関するプロジェクトチームを立ち上げ活動し、ワークショップを通じて虐待の未然防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修等で学ぶ機会を設けており、必要時は関係者と話し合いを行うようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は、管理者と計画作成担当が行い、極力2人で対応をし理解して頂けるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時や電話連絡時に意見を伺い、フロア内で話し合い行い運営に反映できるように心がけている。	面会制限のある中で感染委員会で話し合い、ZOOM・フロアでの面会・居室での面会など新型コロナウイルス感染症蔓延状況により警戒基準別に面会制限をしている。毎月のお便りの送付、電話や面会時など家族の意見や要望を聞く機会を設けている。	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティングや個人面談等を活用し職員の意見を、運営に反映できるように努めている。又会社が資格取得に力を入れており、バックアップ体制も行っている。</p>	<p>毎月のユニット全体会議やユニット毎の会議を通じて話し合いの場を設けている。リーダーを中心に介護方法・業務上の提案・資格取得など何でも話せる関係性があり、職員間の協力関係も築けている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の取組みや実績などを報告する場を設けている。代表者も事業所を見て回り職員に声掛けを行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員一人ひとりが望む外部研修に行けるように配慮している。又、内部の研修会に参加し、知識や技術の向上に努めている。さらにメンター制度があり心のケアにも努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>安佐北区のケアマネ会に計画作成が参加し勉強や他ケアマネとの交流を図っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時より入居者様にしっかり生活歴や要望を聞き、入居者様と職員との信頼関係を作っている。又、他の方ともつながりが持てるように間に入り関わるを持たせてもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>各入居者様に担当を作り、担当が中心となって家族の不安に答えるようにしている。面会時にも積極的に関わりを持ち関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人の小さな訴えや要望にもしっかりと耳を傾け必要なサービスを計画作成担当が検討するようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>家庭的な雰囲気の中での生活を意識し、洗濯、調理、掃除などの家事を一緒に行ったりしている。入居者様同士の助けいながら生活を送っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族様と情報共有を行い、面会などを通じて一緒に入居者様を支援していく関係作りをおこなっている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>本人や家族様に話を伺いながら、関係が途切れないようにはできている。また病院もご本人が行っていた病院を継続している。</p>	<p>家族の協力を得て、利用開始前からのかかりつけの医の受診で先生や知人、場との関係の継続や運営推進会議参加者の民生委員の訪問、電話の取り次ぎや年賀状、手紙の返信など馴染みの人や場との関係が途切れないよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションや一人ひとりの趣味を通じてお互いが支え合う関係を作っている。日ごろから職員が間に入り、コミュニケーションが取れる支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後もケアマネにその後の状況の確認や同事業所に入居されている方には実際に顔を見に行ったりとしている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望や意向は、日ごろから伺い実施できるように検討している。職員の都合になっているところがあるので、その都度本人主体になるように努めている。	利用開始前の基本情報をもとに日頃のケアの中での表情、仕草、会話、家族からの意向など職員間で共有し、利用者一人ひとりのメモリアルブックに記載し、利用者中心の認知症ケアを実践している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	一人ひとりのメモリアルブックの作成に取組みを考えており、本人様、家族様から聞き取った生活歴を一冊の本にまとめ、ケアに取り組みでいこうとしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの表情、行動、言動の小さな変化にも気が付くように努めている。記録や申し送りを職員間で共有できるように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>計画作成担当や担当を中心にその都度話し合いを行っている。また、認知症ケアの取組みでひもときシートの導入を行い、ケアプランへの展開を行っている。</p>	<p>計画作成担当が利用者担当の情報をもとに介護現場記録や月末モニタリングを実施し、趣味や特技、仕事を活かした役割作りを目標に現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の記録を大切にし、小さな変化や気づきを共有するように努めているが、物事が起きてからの話し合いになっていることがある。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度の状況に応じて、入居者様、家族様、職員で話し合い、対応を検討している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ZOOMを使ってのボランティアの受入れや、移動スーパーを利用した買い物等地域の資源を活用している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居者様、家族様の希望のかかりつけ医を受診してもらっている。受診の際には情報提供を行い必要であれば付き添いを行っている。</p>	<p>利用者、家族に希望を聞いている。従来のかかりつけ医の継続受診が殆どである。往診が出来るかかりつけ医の方もいる。受診は家族対応で医療介護マニュアル情報シートをFAXか持参し医療機関との連携を築いている。訪問看護の健康管理や薬局が2週間毎に薬の持参し、薬剤管理など協力関係が充実している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	かかりつけ医との連携を取ながら、看護師がパイプ役となり、現場の情報を医師に伝えたり、医師の話を現場に伝えたりしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者や家族様と情報交換を行い、状態把握や、退院時に必要な体制等の確認を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合は、医師や家族様とも話し合いを行っている。看取りの事例が2件あり。計画作成が中心になり看取り期に入る前から主治医と家族を巻き込み、話し合いが十分に行われた。またスタッフも初めての看取りの中で、ケア方法に戸惑いもあったが話し合いをしていく中で結果良い看取りケアが出来た。	契約時「重度化した場合の対応の指針」について説明している。基本看取りをしない方針であるが、家族の希望もあり始めて2件の看取りを行った。家族、医師、医療関係者、現場の職員など話し合い連携を図りながら、安らかに最期を迎える事が出来た。家族の言葉が今後のケアに活かされている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	研修やマニュアルの整備を行い、緊急時の対応をまとめたファイルも作成している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の消防訓練(日中・夜間)の実施と消防に関する外部研修に参加し一人一人のスキルアップに繋げている。	年2回消防署署員立ち合いのもと、通報、消火器使用方法、避難誘導など利用者と一緒に行っている。1回目の訓練の反省点の指導を踏まえ、2回行う事で災害時の知識を深めている。運営推進会議を通じて地域住民の協力要請や緊急避難事業所として発信や災害時の連絡網やマニュアル、備蓄品を整備している。	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩であるという敬意を持って、接している。法人としても研修を通じて教育を図っている。	研修や朝夕礼時、介護月刊誌の読み込みや日頃のケアの中での言葉かけ、声掛けなど振り返り、不適切な対応がないか本人が気づく事で望ましい対応を確認している。リーダーや職員同士注意し合える職場環境作りを実践している。イニシャルを使い個人が特定できないよう配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人主体になるように心がけており、選択する機会が持てるよう、意識を持って取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	体調や希望を伺いながらその日その日で支援を行っているが、業務の都合で入居者のペースになっていない時もある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	服装も本人様と一緒に選んだり、お化粧品をおこなったりと身だしなみにも注意を払っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	準備や片づけだけでなく、好みやリクエストに答え、皆と一緒に作る機会を設けている。	主食と味噌汁はユニットで調理し、副菜は委託業者の献立を温め配膳を行い提供している。利用者と一緒の準備や片付け等役割づくりで出来る事を喜びに繋げている。広告を見て食べたい物のリクエストや行事食、誕生日の手作りケーキ、テラスでのバーベキュー、鍋パーティー、ピザ等食を楽しむ支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事水分摂取表を毎日記録し、前日に少なかった方を、朝の送りで伝え意識して取り組んでいる。飲み物等の好みも伺いながら提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食事前の口腔体操を行い、食後の口腔ケアの声掛けや確認、介助を行っている。定期的な歯科受診を勧めたり、訪問歯科にも来ていただき歯の清潔に取り組んでいる。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を確認し、本人様の排泄パターンを知るところか始まり、トイレでできるように声掛けを行っている。</p>	<p>排泄確認表を活用し、個々の排泄パターンを把握して表情や仕草など見逃す事のないよう誘導の声掛けを行い、トイレで座位姿勢の排泄支援を基本としている。共有トイレには手すり、跳ね上げ前方手すりや夜間にはベット横にポータブルトイレを設置し自立に向けての支援をしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分量に気をつけ、体操や散歩などで身体を動かしている。薬についてもかかりつけ医と相談し、無理のないよう調整を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>曜日や時間は決めているが、入居者様の体調や希望に合わせて対応している。入浴剤や壁面貼り嗅覚や視覚も楽しめるようにしている。</p>	<p>週2回が基本であるが、体調や時間帯など柔軟に対応している。季節にはゆず湯や入浴剤、浴室壁面に宮島の大鳥居、ひまわりの写真を貼るなどの雰囲気作りで湯舟に浸かりゆったりと銭湯気分を楽しめる支援をしている。入浴後には保湿剤塗布や利用者の好みの服を着るなど個々に合った支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	消灯時間はもうけておらず、状 況に応じて休んでいただいてる。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	薬情報の差し替えを行ったり、 薬のセットや配薬や内服の確認 をダブルチェックで行っている。 臨時薬や薬の変更時には記録に 残し、症状の変化に気を付けて いる。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	小さなことでも役割として行っ ている。趣味をいかしての交流 を行っているが、全員行えてい るかという点では行えていない。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。</p>	コロナの関係で、外出支援が以 前のようには出来ていないが、 移動販売が施設にきているので 買いに出たりしている。また 散歩やゴミ捨てなどの時、一 緒に行っている。	コロナ禍で外出自粛が続いてい るが、屋外での外気浴、受診の 際での外出、移動スーパーの買 物、近隣散歩で坂道を歩く事 で下肢筋力低下予防に繋げる など利用者を建物内に閉じ込 めず、外で過ごす事を実践し ている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	少ない額ではあるが本人様の気 持ちに応え、現金を持っている 方もおられる。又、立替という 形で、本人様が好きなものが 買えるように支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人様の要望に合わせて、その都度電話を掛けたりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節感のある飾りつけを、入居者様と一緒にになって行っている。生活感や清潔感が保てるように常に意識し配慮している。</p>	<p>各ユニット毎に違った雰囲気作りがされていて、職員と一緒に作った作品や展示品が壁面に飾り季節感を感じさせる工夫をしている。テーブル、椅子、ソファ席が落ち着いて過ごせるように配置されている。又、新型コロナウイルス感染症対策で換気や消毒などにも努めている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テーブルの席などを適宜見直し一人ひとりがくつろぎやすいように配慮している。利用者様同士が交流しやすいように職員が間に入り関わりを持たせてもらっている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅にある小物、タンス等を置き居室の配置もなるべく自宅に近づける様に工夫している。</p>	<p>居室はベット、洗面台、エアコンを設置している。自己管理できる物が自由に持ち込まれて使い慣れた調度品、趣味の物、家族の写真、ソファ、ぬいぐるみなど利用者が居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>家事全般を一緒に行いながら、一人ひとりができる事を継続できるように、関わりを持たせてもらっている。</p>		

V アウトカム項目(こぼれび) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。</p>	<p>朝礼時に理念の唱和を行い、施設内研修等でも理念の唱和を行い共有できている。</p>		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>コロナウイルス感染拡大から地域行事が行えなくなっている。その中でも、フジの移動スーパーが毎週水曜日に来て、施設の利用者・職員・地域の方が購入されている。その際に、少しではあるが交流ができています。</p>		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>コロナウイルス感染拡大防止から地域に向けての取り組みが行えていないが、運営推進会議の中で地域の向けて事業所のサービス説明をしてほしいと依頼がある。</p>		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>町内会長、老人会の会長、民生委員、地域包括、家族、地域連携委員（施設内の職員）に参加して頂き、取組みの説明を行い、助言等を頂いている。</p>		
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>制度上の不明点の確認等は積極的に行い、地域包括の職員とも協力関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	この1年間で身体拘束発生事例はない。毎月身体拘束廃止推進委員会を開催し未然の防止を図っている。 防犯上の管理から玄関は電子ロックをかけているが、入居者様の思いにはしっかりとお答えし、職員付添いのもと一緒に外に出ている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待に関する委員会の指針等の整備を会社が行っている。研修に関しては年2回開催し職員の意識を高めている。また、員致傷の理解を深める為に、認知症に関するプロジェクトチームを立ち上げ活動し、ワークショップを通じて虐待の未然防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修等で学ぶ機会を設けており、必要時は関係者と話し合いを行うようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は、管理者と計画作成担当が行い、極力2人で対応をし理解して頂けるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時や電話連絡時に意見を伺い、フロア内で話し合いを行い運営に反映できるように心がけている。		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティングや個人面談等を活用し職員の意見を、運営に反映できるように努めている。又会社が資格取得に力を入れており、バックアップ体制も行っている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の取組みや実績などを報告する場を設けている。代表者も事業所を見て回り職員に声掛けを行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員一人ひとりが望む外部研修に行けるように配慮している。又、内部の研修会に参加し、知識や技術の向上に努めている。さらにメンター制度があり心のケアにも努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>安佐北区のケアマネ会に計画作成が参加し勉強や他ケアマネとの交流を図っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時より入居者様にしっかり生活歴や要望を聞き、入居者様と職員との信頼関係を作っている。又、他の方ともつながりが持てるように間に入り関わるを持たせてもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>各入居者様に担当を作り、担当が中心となって家族の不安に答えるようにしている。面会時にも積極的に関わりを持ち関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人の小さな訴えや要望にもしっかりと耳を傾け必要なサービスを計画作成担当が検討するようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>家庭的な雰囲気の中での生活を意識し、洗濯、調理、掃除などの家事を一緒に行ったりしている。入居者様同士の助けいながら生活を送っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族様と情報共有を行い、面会などを通じて一緒に入居者様を支援していく関係作りをおこなっている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>本人や家族様に話を伺いながら、関係が途切れないようにはできている。また病院もご本人が行っていた病院を継続している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>レクリエーションや一人ひとりの趣味を通じてお互いが支え合う関係を作っている。日ごろから職員が間に入り、コミュニケーションが取れる支援を行っている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>退去後もケアマネにその後の状況の確認や同事業所に入居されている方には実際に顔を見に行ったりとしている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人の希望や意向は、日ごろから伺い実施できるように検討している。職員の都合になっているところがあるので、その都度本人主体になるように努めている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>一人ひとりのメモリアルブックの作成に取組みを考えており、本人様、家族様から聞き取った生活歴を一冊の本にまとめ、ケアに取り組みでいこうとしている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>一人ひとりの表情、行動、言動の小さな変化にも気が付くように努めている。記録や申し送りを職員間で共有できるように取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>計画作成担当や担当を中心にその都度話し合いを行っている。また、認知症ケアの取組みでひもときシートの導入を行い、ケアプランへの展開を行っている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の記録を大切に、小さな変化や気づきを共有するように努めているが、物事が起きてからの話し合いになっていることがある。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度の状況に応じて、入居者様、家族様、職員で話し合い、対応を検討している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ZOOMを使ってのボランティアの受入れや、移動スーパーを利用した買い物等地域の資源を活用している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居者様、家族様の希望のかかりつけ医を受診してもらっている。受診の際には情報提供を行い必要であれば付き添いを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	かかりつけ医との連携を取ながら、看護師がパイプ役となり、現場の情報を医師に伝えたり、医師の話を現場に伝えたりしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者や家族様と情報交換を行い、状態把握や、退院時に必要な体制等の確認を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合は、医師や家族様とも話し合いを行っている。 看取りの事例が2件あり。計画作成が中心になり看取り期に入る前から主治医と家族を巻き込み、話し合いが十分に行われた。またスタッフも初めての看取りの中で、ケア方法に戸惑いもあったが話し合いをしていく中で結果良い看取りケアが出来た。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	研修やマニュアルの整備を行い、緊急時の対応をまとめたファイルも作成している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の消防訓練（日中・夜間）の実施と消防に関する外部研修に参加し一人一人のスキルアップに繋げている。		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩であるという敬意を持って、接している。法人としても研修を通じて教育を図っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人主体になるように心がけており、選択する機会が持てるよう、意識を持って取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	体調や希望を伺いながらその日その日で支援を行っているが、業務の都合で入居者のペースになっていない時もある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	服装も本人様と一緒に選んだり、お化粧品をおこなったりと身だしなみにも注意を払っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	準備や片づけだけでなく、好みやリクエストに答え、皆で一緒に作る機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事水分摂取表を毎日記録し、前日に少なかった方を、朝の送りで伝え意識して取り組んでいる。飲み物等の好みも伺いながら提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食事前の口腔体操を行い、食後の口腔ケアの声掛けや確認、介助を行っている。定期的な歯科受診を勧めたり、訪問歯科にも来ていただき歯の清潔に取り組んでいる。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を確認し、本人様の排泄パターンを知るところか始まり、トイレでできるように声掛けを行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分量に気をつけ、体操や散歩などで身体を動かしている。薬についてもかかりつけ医と相談し、無理のないよう調整を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>曜日や時間は決めているが、入居者様の体調や希望に合わせて対応している。入浴剤や壁面貼り嗅覚や視覚も楽しめるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	消灯時間はもうけておらず、状 況に応じて休んでいただいてる。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	薬情報の差し替えを行ったり、 薬のセットや配薬や内服の確認 をダブルチェックで行っている。 臨時薬や薬の変更時には記録に 残し、症状の変化に気を付けて いる。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	小さなことでも役割として行っ ている。趣味をいかしての交流 を行っているが、全員行えてい るかという点では行えていない。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。</p>	コロナの関係で、外出支援が以 前のようには出来ていないが、 移動販売が施設に来ているので 買いに出たりしている。また散 歩やゴミ捨てなどの時、一緒 に行っている。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	少ない額ではあるが本人様の気 持ちに応え、現金を持っている 方もおられる。又、立替という 形で、本人様が好きなものが 買えるように支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人様の要望に合わせて、その都度電話を掛けたりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節感のある飾りつけを、入居者様と一緒にやって行っている。生活感や清潔感が保てるように常に意識し配慮している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テーブルの席などを適宜見直し一人ひとりがくつろぎやすいように配慮している。利用者様同士が交流しやすいように職員が間に入り関わりを持たせてもらっている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅にある小物、タンス等を置き居室の配置もなるべく自宅に近づけれ様に工夫している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>家事全般を一緒に行いながら、一人ひとりができる事を継続できるように、関わりを持たせてもらっている。</p>		

V アウトカム項目(ひだまり) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームガーデンの家落合南

作成日 令和4年10月31日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	火災等の災害が発生した際、瞬時に対応ができるスタッフが少ない	知識・技術はもちろん実践ができるようになる	①マニュアルの作成 ②消防訓練内容の充実 ③消防訓練実践研修への参加	①12月までに ②12月14日 ③12月中
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。